

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年11月7日（月）～11月13日（日）〔平成23年第45週〕の感染症発生状況

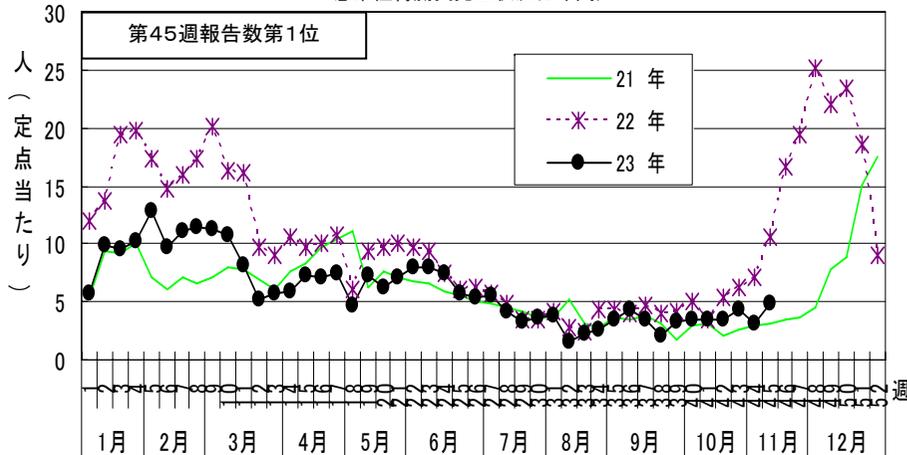
第45週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり4.79人と前週（3.09）より患者報告数は増加していますが、例年の同時期と比べると、低いレベルで推移しています。ただし、これからの時期に患者報告数が増加することが推測されますので注意が必要です。

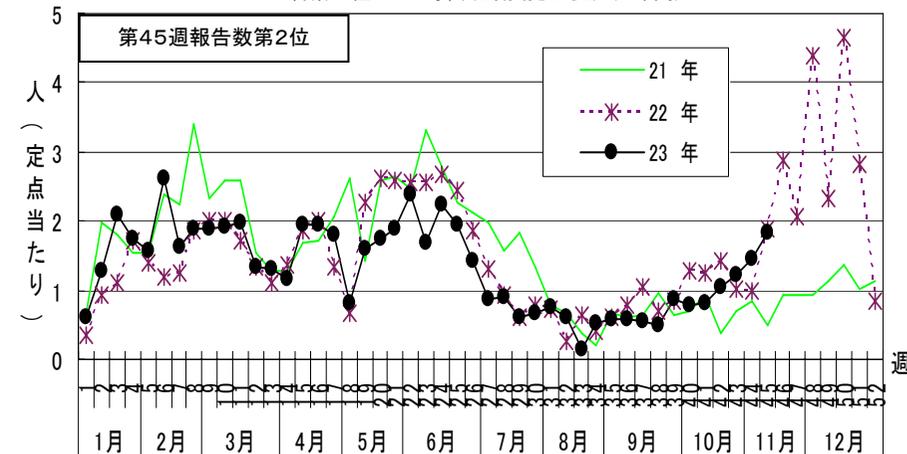
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.82人と前週（1.45）より患者報告数は増加しており、ほぼ例年並みの推移となっています。

前週に引き続き、細菌性赤痢の発生届が1件（推定感染経路：経口感染、推定感染地域：マダガスカル）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



今年の冬は「洗手必焼(せんてひっしょう)」！！

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こり、主に下痢やおう吐などの症状がでます。秋から冬にかけて流行するものはほとんどウイルスによって起こり、特にこれからの時期はノロウイルスによるものが増えてきます。

下痢やおう吐により体内の水分を多く失いますので、水分補給はこまめに行いましょう。水分を受け付けなときは、医療機関を受診するようにしましょう。特に、乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいので注意が必要です。

洗手(せんて)

患者の便やおう吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗い・うがいを徹底しましょう。

さらに、便やおう吐物を放置してしまうと、乾燥して空气中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者の便やおむつ、おう吐物は乾燥しないうちに早めに片付けましょう。

必焼(ひっしょう)

二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中心部まで**加熱**(85℃で1分以上)して食べるようにしましょう。



必洗手洗

手洗い・加熱は十分に

